

ゲートキーパー研修（SOSの受け止め方）について（報告）

令和3年10月7日（木）、特定非営利活動法人 新潟県ゲートキーパー協会の漆間和美様を講師に招き、「ゲートキーパー研修（SOSの受け止め方）研修を実施しました。本校はPTA役員と教職員が参加しました。

1 研修内容

- ・ゲートキーパーとは
- ・児童生徒の自殺の実態
- ・SOSの出せない子どもの心理
- ・自殺の危険因子
- ・対応の原則
- ・体験のワーク
- ・傾聴のステップ
- ・気持ちに寄り添うとは



以上の内容を講演とワークショップを交えての研修会であった。

2 職員の気づき、今後活かしたい場面

- ・ 日常の中で、人の話を聴いて受け止めていたか、不安になった。大人として、人と向き合って話しをしたいと思った。
- ・ 多忙の中で、「傾聴できる」環境を整え、作り出すことも大切だと感じた。
- ・ 悩んでいる生徒、自己肯定感に欠けている生徒に寄り添う場面で活かしたい。

3 PTA役員の感想

今日の研修会は、自分も中学校の外部コーチを務めているので、子供の指導に大変参考になりました。また、このような研修を、長岡商業の先生方が取り組んでいて、自分の子供を安心して預ける事ができると感じました。

4 最後に

今後、教職員共々、生徒に寄り添い、生徒のSOSを見逃さない学校づくりに向け、教育相談体制を充実させるとともに、職員間で情報を共有し、組織的に対処しています。ご理解とご協力をお願いいたします。